

実績報告

事業名	START Box ササハタハツにおける利用者及び地域交流イベント
会場	START Box ササハタハツ(笹塚・幡ヶ谷)
実施日	2023年8月27日(日)15:30~18:00 (15:30~16:00 アーティスト交流会、17:00~18:00 オープンアトリエ)
参加者数	アトリエ利用アーティスト6名、オープンアトリエ来場者23名(延べ人数)
概要	START Box ササハタハツを利用しているアーティスト同士が交流する機会をつくとともに、自身のスペースに作品を展示し、自由に鑑賞してもらうことで、地域住民等との交流を図るオープンアトリエを開催。
写真	<div data-bbox="212 562 887 1010"></div> <p data-bbox="922 595 1198 629"><アーティスト交流会></p> <p data-bbox="922 645 1378 819">交流スペースにて、アトリエを利用しているアーティスト同士がお互いの活動を紹介しました。作品や使用素材等についての質問が多くありました。</p> <div data-bbox="212 1021 900 1536"></div> <p data-bbox="922 1055 1166 1088"><オープンアトリエ></p> <p data-bbox="922 1104 1378 1234">アトリエの中では制作途中の作品が飾られ、来場者がアーティストとも交流ができる貴重な機会となりました。</p> <p data-bbox="922 1249 1378 1379">多くの来場者が作品や活動について、興味津々にアーティストと会話をしていました。</p> <div data-bbox="204 1547 903 2074"></div> <p data-bbox="922 1581 1161 1615"><イベント終了後></p> <p data-bbox="922 1630 1378 1850">アーティスト同士が自発的にお互いのアトリエを訪問し、実際の作品を前にして細かな質問等をしていました。このイベントを通して、交流が深まった様子でした。</p>

START Box

ササハタハツ

6名の
アーティスト
が参加！
※詳細は裏面

オープンアトリエ開催 入場無料！

日程 令和5年 **8月27日(日)**

時間 **17:00~18:00**

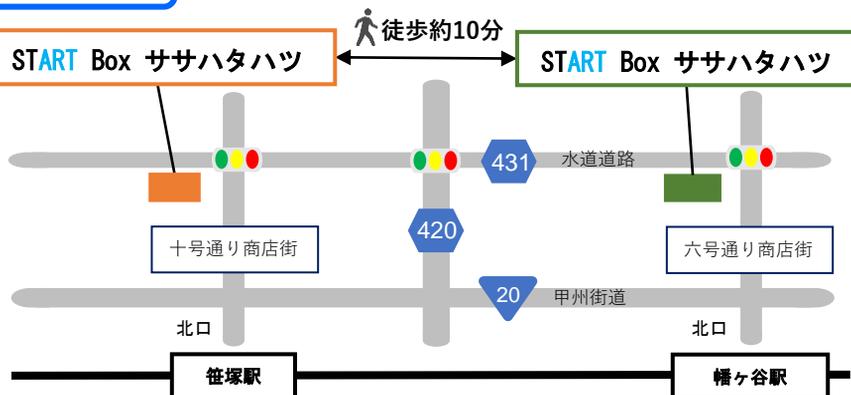
※当日の状況により変更する場合があります。

会場 **START Box ササハタハツ**

参加費 **無料** (予約不要・直接会場にお越しください)

概要 **絵画、彫刻、テキスタイル、インスタレーションなど様々なジャンルの若手アーティストの創作スペースをご覧いただけます。**
在室しているアーティストと、交流することも可能です。

アクセス



START Box ササハタハツとは

水道道路沿いにある笹塚・幡ヶ谷の都営住宅の空き店舗（6区画）をアトリエ等に整備し、若手アーティストに提供することで継続的な創作活動を支援する事業です。

《公式ウェブサイト・X(旧Twitter)》



※悪天候等により、開催を見送る場合がございます。最新情報は公式X(旧Twitter)にてお知らせします。

笹塚

渋谷区笹塚2丁目42番
都営笹塚2丁目アパート42-15号棟1階
交通：京王線「笹塚駅」から徒歩約6分

幡ヶ谷

渋谷区幡ヶ谷2丁目52番
都営幡ヶ谷2丁目第2アパート52-1号棟1階
交通：京王新線「幡ヶ谷駅」から徒歩約7分
※両スペースとも駐車場・駐輪場はありません。

【問合せ先】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課 TEL：03-6256-8853 E-mail：rekibun_promo@rekibun.or.jp

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

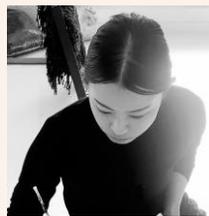


笹塚

西村 祐美 (にしむら ゆみ)

1984年福岡県生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科卒業。
Web制作会社、映像制作会社勤務後、アナログへの回帰を試みる
中で染織を独学。

【受賞歴】 SICF22 保坂健二郎賞(2021)、Arte Laguna Prize
ファイナリスト(2021)、Independent Tokyo 武石太郎賞・石橋
高基賞(2019)など



「NR60_01」
2023年

素材：綿、麻、アクリル、パネル、600 x 600 x 55mm

SAKAMOTO ENTERTAINMENT

1997年熊本県生まれ。多摩美術大学統合デザイン学科卒業。
素材を研究し、新たな視点からものを見つめ直しデザインやア
ートに落とし込む。

【受賞歴】 muni art award 2022ファイナリスト。アートオリン
ピア2022入選。長亭GALLERY展2022入選。SHIBUYA AWARDS
2021入選。第3回KYOBASHI ART WALL art competition優秀賞



「RUBBER BANDS COLLECTION」

2019年

素材：輪ゴム

山本 未知 (thirdkindbooks)

日本大学生産工学部 創生デザイン学科 スペースデザイン専攻 卒業。
現在 thirdkindbooks という名前で活動中。本との出会いや関わる
環境に新たな可能性を提案している。その他アートプロジェクトの
企画・展示構成や設営、アーカイブ映像制作など。今年10月より開
催予定の「さいたま国際芸術祭2023」市民プロジェクトでは空間
デザイン、アーカイブ映像を担当する。



■上：「群馬青年ビエンナーレ2019」

群馬県立近代美術館の本展にて、これまで当美術館で開催された
展覧会の全図録を借用し表紙を展開して並べた作品。(Yu Oharaとの共同制作)

■下：「さいたま国際芸術祭2020」
芸術祭の旧大宮図書館会場にて、計画したSACP(さいたまアートセンタープロジェクト) ROOMに
関わる様々な参加者が持ち寄った本を閲覧できるライブラリー空間を制作。

幡ヶ谷

中山 琳太郎 (なかやま りんたろう)

2000年東京都生まれ。日本大学芸術学部美術学科彫刻コース
卒業。粘土やスタイロフォームなど可塑性のある素材を用い
て立体作品を制作する。自身が生活の中で発見した感覚や景
色を、幼少期の曖昧だった感覚や景色とリンクさせ、作品を
通して再構築する。

【受賞歴】 公益財団法人 北野生涯教育復興会彫刻奨学生



「nomadic list」

2022年

素材：発泡スチロール、石粉粘土、アクリル絵の具 140×90×130cm

澁木 智宏 (しぶき ともひろ)

北海道小樽市出身。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業。
日常の暮らしの中で個々に記号として認識されている物事を、
連続性・集合性・一体性の観点から捉えなおすことに関心を持
ち、制作活動を行う。近年の主な展覧会に、「MMMみなとメ
ディアミュージアム2020→2021」、「UNMANNED 無人駅の
芸術祭」など国内外で発表を行う。



「隣の景色」

2021年

Film on Windows ひたちなか海浜鉄道車内

天草 ミオ (あまくさ みお)

埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻修了。
透明なフィルム紙の裏側から描く、レイヤーが逆転したペイン
ティングのほか、ドローイング、陶を制作する。「視線」や「見
られるもの」、「内と外のあいだ」をキーワードに、記憶や物語、
歴史を重ねあわせた作品を作る。9月末よりCenter line art
festival Tokyo 2023の「Space Sharing Program」に参加。



「Party Night」

2022年

素材：和紙、アクリル絵具、土、その他